



ASA のライセンス管理

シスコスマートソフトウェアライセンスによって、ライセンスを購入し、ライセンスのプールを一元管理することができます。各ユニットのライセンスキーを管理する必要なく、デバイスを簡単に導入または削除できます。スマートソフトウェアライセンスを利用すれば、ライセンスの使用状況と要件をひと目で確認することもできます。



(注) このセクションは、Firepower 4100/9300 シャーシ上の ASA 論理デバイスにのみ該当します。Firepower Threat Defense 論理デバイスのライセンスの詳細については、『Firepower Management Center Configuration Guide』を参照してください。

- [スマートソフトウェアライセンスについて \(1 ページ\)](#)
- [スマートソフトウェアライセンスの前提条件 \(5 ページ\)](#)
- [スマートソフトウェアライセンスのガイドライン \(6 ページ\)](#)
- [スマートソフトウェアライセンスのデフォルト \(6 ページ\)](#)
- [通常スマートソフトウェアライセンスの設定 \(6 ページ\)](#)
- [Firepower 4100/9300 シャーシのスマートライセンス サテライト サーバの設定 \(9 ページ\)](#)
- [パーマネントライセンス予約の設定 \(10 ページ\)](#)
- [スマートソフトウェアライセンスの履歴 \(13 ページ\)](#)

スマートソフトウェアライセンスについて

ここでは、スマートソフトウェアライセンスの仕組みについて説明します。



(注) このセクションは、Firepower 4100/9300 シャーシ上の ASA 論理デバイスにのみ該当します。Firepower Threat Defense 論理デバイスのライセンスの詳細については、『Firepower Management Center Configuration Guide』を参照してください。

ASA のスマート ソフトウェア ライセンシング

Firepower 4100/9300 シャーシ上の ASA アプリケーションの場合、スマート ソフトウェア ライセンス設定は Firepower 4100/9300 シャーシ スーパーバイザとアプリケーションの間で分割されます。

- Firepower 4100/9300 シャーシ：ライセンス認証局との通信を行うためのパラメータを含めて、スーパーバイザにすべてのスマート ソフトウェア ライセンス インフラストラクチャを設定します。Firepower 4100/9300 シャーシ 自体の動作にライセンスは必要ありません。



(注) シャーシ間クラスタリングでは、クラスタ内の各シャーシで同じスマート ライセンス方式を有効にする必要があります。

- ASA アプリケーション：アプリケーションのすべてのライセンスの権限付与を設定します。

Smart Software Manager とアカウント

デバイスの 1 つ以上のライセンスを購入する場合は、Cisco Smart Software Manager で管理します。

<https://software.cisco.com/#module/SmartLicensing>

Smart Software Manager では、組織のマスター アカウントを作成できます。



(注) まだアカウントをお持ちでない場合は、このリンクをクリックして**新しいアカウントをセットアップ**してください。Smart Software Manager では、組織のマスター アカウントを作成できます。

デフォルトでは、ライセンスはマスターアカウントの下のデフォルトの仮想アカウントに割り当てられます。アカウントの管理者として、オプションで追加の仮想アカウントを作成できます。たとえば、地域、部門、または子会社ごとにアカウントを作成できます。複数の仮想アカウントを使用することで、多数のライセンスおよびデバイスの管理をより簡単に行うことができます。

オフライン管理

デバイスにインターネット アクセスがなく、License Authority に登録できない場合は、オフラインライセンスを設定できます。

パーマネント ライセンスの予約

デバイスがセキュリティ上の理由でインターネットにアクセスできない場合、オプションで、各 ASA の永続ライセンスを要求できます。永続ライセンスでは、License Authority への定期的なアクセスは必要ありません。PAK ライセンスの場合と同様にライセンスを購入し、ASA のライセンス キーをインストールします。PAK ライセンスとは異なり、ライセンスの取得と管理に Smart Software Manager を使用します。通常のス마트 ライセンス モードと永続ライセンスの予約モード間で簡単に切り替えることができます。

すべての機能、すなわちモデルの正しい最大スループットを備えた標準ティアおよびキャリアライセンスを有効にするライセンスを取得できます。ライセンスは Firepower 4100/9300 シャーシ上で管理されますが、それに加えて ASA の設定で権限付与を要求することにより、ASA でそれらを使用できるようにする必要があります。

サテライト サーバ

デバイスがセキュリティ上の理由でインターネットにアクセスができない場合、オプションで、仮想マシン (VM) としてローカル Smart Software Manager サテライトサーバをインストールできます。サテライト (衛星) は、Smart Software Manager 機能のサブセットを提供し、これによりすべてのローカル デバイスに重要なライセンス サービスが提供可能になります。ライセンス使用を同期するために、定期的にサテライトだけが License Authority と同期する必要があります。スケジュールに沿って同期するか、または手動で同期できます。

サテライトアプリケーションをダウンロードして導入したら、インターネットを使用して Cisco SSM にデータを送信しなくても、以下の機能を実行できます。

- ライセンスの有効化または登録
- 企業ライセンスの表示
- 会社のエンティティ間でのライセンス移動

詳細については、[スマート アカウント マネージャ サテライト](#)にある『Smart Software Manager satellite installation and configuration guide』を参照してください。

仮想アカウントごとに管理されるライセンスとデバイス

ライセンスとデバイスは仮想アカウントごとに管理されます。つまり、その仮想アカウントのデバイスのみが、そのアカウントに割り当てられたライセンスを使用できます。追加のライセンスが必要な場合は、別の仮想アカウントから未使用のライセンスを転用できます。仮想アカウント間でデバイスを転送することもできます。

Firepower 4100/9300 シャーシのみがデバイスとして登録され、シャーシ内の ASA アプリケーションはそれぞれ固有のライセンスを要求します。たとえば、3つのセキュリティ モジュールを搭載した Firepower 9300 シャーシでは、全シャーシが1つのデバイスとして登録されますが、各モジュールは合計3つのライセンスを別個に使用します。

評価ライセンス

Firepower 4100/9300 シャーシは、次の 2 種類の評価ライセンスをサポートしています。

- シャーシ レベル評価モード：Firepower 4100/9300 シャーシによる Licensing Authority への登録の前に、評価モードで 90 日間（合計使用期間）動作します。このモードでは、ASA は固有の権限付与を要求できません。デフォルトの権限のみが有効になります。この期間が終了すると、Firepower 4100/9300 シャーシはコンプライアンス違反の状態になります。
- 権限付与ベースの評価モード：Firepower 4100/9300 シャーシが Licensing Authority に登録をした後、ASA に割り当て可能な時間ベースの評価ライセンスを取得できます。ASA で、通常どおりに権限付与を要求します。時間ベースのライセンスの期限が切れると、時間ベースのライセンスを更新するか、または永続ライセンスを取得する必要があります。



(注) 高度暗号化（3DES/AES）の評価ライセンスを取得することはできません。永続ライセンスのみでこの権限がサポートされます。

Smart Software Manager 通信

このセクションでは、デバイスが Smart Software Manager と通信する方法について説明します。

デバイス登録とトークン

各仮想アカウントに対し、登録トークンを作成できます。このトークンは、デフォルトで 30 日間有効です。各シャーシを導入するとき、または既存のシャーシを登録するときこのトークン ID と権限付与レベルを入力します。既存のトークンの有効期限が切れている場合は、新しいトークンを作成できます。

導入した後、または既存のシャーシでこれらのパラメータを手動で設定した後、そのシャーシを起動するとシスコのライセンス認証局に登録されます。シャーシがトークンで登録されるとき、ライセンス認証局はシャーシとそのライセンス認証局との間で通信を行うために ID 証明書を発行します。この証明書の有効期間は 1 年ですが、6 か月ごとに更新されます。

ライセンス認証局との定期通信

デバイスはライセンス認証局と 30 日おきに通信します。Smart Software Manager に変更を加えた場合は、デバイス上で許可を更新し、すぐに変更されるようにすることができます。または、スケジュールどおりにデバイスが通信するのを待ちます。

必要に応じて、HTTP プロキシを設定できます。

Firepower 4100/9300 シャーシでは、少なくとも 90 日おきに、直接接続または HTTP プロキシを介したインターネットアクセスが必要です。通常のライセンス通信が 30 日ごとに行われますが、猶予期間によって、デバイスは Call Home なしで最大 90 日間動作します。猶予期間後、Licensing Authority に連絡しない限り、特別なライセンスを必要とする機能の設定変更を行なえませんが、動作には影響ありません。



- (注) デバイスが1年間ライセンス認証局と通信できない場合、デバイスは強力な暗号化ライセンスを使用せずに未登録状態になります。

コンプライアンス逸脱状態

次の状況では、デバイスがコンプライアンスから逸脱している可能性があります。

- 使用超過：デバイスが利用できないライセンスを使用している場合。
- ライセンスの有効期限切れ：時間ベースのライセンスの有効期限が切れている場合。
- 通信の欠落：デバイスが再許可を得るために Licensing Authority に到達できない場合。

アカウントのステータスがコンプライアンス違反状態なのか、違反状態に近づいているのかを確認するには、Firepower 4100/9300 シャーシで現在使用中の権限付与とスマートアカウントのものを比較する必要があります。

コンプライアンス違反の場合、特別なライセンスが必要な機能への設定変更はできなくなりますが、その他の動作には影響ありません。たとえば、標準のライセンス制限を超える既存のコンテキストは実行を継続でき、その構成を変更することもできますが、新しいコンテキストを追加することはできません。

Smart Call Home インフラストラクチャ

デフォルトで、Smart Call Home のプロファイルは、ライセンス認証局の URL を指定する FXOS 設定内にあります。このプロファイルは削除できません。ライセンスプロファイルの設定可能なオプションは、ライセンス機関の宛先アドレス URL のみであることに注意してください。Cisco TAC に指示されない限り、License Authority の URL は変更しないでください。

スマート ソフトウェア ライセンスの前提条件

- この章は、Firepower 4100/9300 シャーシ上の ASA 論理デバイスにのみ該当します。Firepower Threat Defense 論理デバイスのライセンスの詳細については、『Firepower Management Center Configuration Guide』を参照してください。
- Cisco Smart Software Manager でマスター アカウントを作成します。
<https://software.cisco.com/#module/SmartLicensing>
まだアカウントをお持ちでない場合は、このリンクをクリックして[新しいアカウントをセットアップ](#)してください。Smart Software Manager では、組織のマスター アカウントを作成できます。
- [Cisco Commerce Workspace](#) から 1 つ以上のライセンスを購入します。ホームページの [製品とソリューションを検索 (Find Products and Solutions)] フィールドで、該当するプラッ

トフォームを検索します。一部のライセンスは無料ですが、スマート ソフトウェア ライセンス アカウントにそれらを追加する必要があります。

- シャーシがライセンス機関と通信できるように、シャーシからのインターネットアクセスまたは HTTP プロキシ アクセスを確保します。
- シャーシがライセンス機関の名前を解決できるように、DNS サーバを設定します。
- シャーシのための時間を設定します。
- ASA ライセンス資格を設定する前に、Firepower 4100/9300 シャーシでスマート ソフトウェア ライセンス インフラストラクチャを設定します。

スマート ソフトウェア ライセンスのガイドライン

フェイルオーバー クラスタリングのための ASA ガイドライン

各 Firepower 4100/9300 シャーシは、License Authority またはサテライト サーバに登録される必要があります。セカンダリ ユニットに追加費用はかかりません。永続ライセンスを予約するには、シャーシごとに個別のライセンスを購入する必要があります。

スマート ソフトウェア ライセンスのデフォルト

Firepower 4100/9300 シャーシ のデフォルト設定には、ライセンス認証局の URL を指定する「SLProfile」という Smart Call Home のプロファイルが含まれています。

通常スマート ソフトウェア ライセンシングの設定

Cisco License Authority と通信するため、必要に応じて HTTP プロキシを設定できます。License Authority に登録するには、スマート ソフトウェア ライセンス アカウントから取得した Firepower 4100/9300 シャーシ の登録トークン ID を入力する必要があります。

手順

-
- ステップ 1 (任意) [HTTP プロキシの設定 \(7 ページ\)](#)。
 - ステップ 2 (任意) [Call Home URL の削除 \(7 ページ\)](#)
 - ステップ 3 [Firepower セキュリティ アプライアンスの License Authority への登録 \(7 ページ\)](#)。
-

(任意) HTTP プロキシの設定

ネットワークでインターネット アクセスに HTTP プロキシを使用する場合、スマート ソフトウェア ライセンシング用のプロキシアドレスを設定する必要があります。このプロキシは、一般に Smart Call Home にも使用されます。



(注) 認証を使用する HTTP プロキシはサポートされません。

手順

ステップ 1 [システム (System)] > [ライセンス (Licensing)] > [Call Home] を選択します。

[Call Home] ページには、License Authority の宛先アドレス URL を設定するフィールド、および HTTP プロキシを設定するフィールドが表示されます。

(注) Cisco TAC からの指示がない限り、ライセンス認証局の URL を変更しないでください。

ステップ 2 [サーバの有効化 (Server Enable)] ドロップダウンリストから、[オン (on)] を選択します。

ステップ 3 [サーバ URL (Server URL)] フィールドと [サーバポート (Server Port)] フィールドにプロキシ IP アドレスとポートを入力します。たとえば、HTTPS サーバのポート 443 を入力します。

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。

(任意) Call Home URL の削除

以前に設定された Call Home URL を削除するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ 1 [システム (System)] > [ライセンス (Licensing)] > [Call Home] を選択します。

ステップ 2 [Call home Configuration] 領域で、[Delete] を選択します。

Firepower セキュリティ アプライアンスの License Authority への登録

Firepower 4100/9300 シャーシを登録すると、ライセンス認証局によって Firepower 4100/9300 シャーシとライセンス認証局との間の通信に使用される ID 証明書が発行されます。また、Firepower 4100/9300 シャーシが該当する仮想アカウントに割り当てられます。通常、この手順

は 1 回限りのインスタンスです。ただし、通信の問題などが原因で ID 証明書の期限が切れた場合は、Firepower 4100/9300 シャーシの再登録が必要になります。

手順

-
- ステップ 1** Smart Software Manager または Smart Software Manager Satellite で、この Firepower 4100/9300 シャーシの追加先となるバーチャルアカウントの登録トークンを要求してコピーします。
- スマート ソフトウェア マネージャ サテライトを使用して登録トークンを要求する方法について詳しくは、『Cisco Smart Software Manager Satellite User Guide』（<https://www.cisco.com/c/en/us/buy/smart-accounts/software-manager-satellite.html>）を参照してください。
- ステップ 2** Firepower Chassis Manager で、[システム (System)] > [ライセンス (Licensing)] > [スマート ライセンス (Smart License)] の順に選択します。
- ステップ 3** [Enter Product Instance Registration Token] フィールドに登録トークンを入力します。
- ステップ 4** [登録 (Register)] をクリックします。

Firepower 4100/9300 シャーシがライセンス認証局への登録を試行します。

デバイスの登録を解除するには、[登録解除 (Unregister)] をクリックします。

Firepower 4100/9300 シャーシの登録を解除すると、アカウントからデバイスが削除されます。さらに、デバイス上のすべてのライセンス資格と証明書が削除されます。登録を解除することで、ライセンスを新しい Firepower 4100/9300 シャーシに利用することもできます。あるいは、Smart Software Manager からデバイスを削除できます。

Cisco Success Network の登録の変更

Cisco Smart Software Manager に Firepower 4100/9300 を登録するときは、Cisco Success Network を有効にします。その後、次の手順を使用して、登録ステータスを表示または変更します。



- (注) Cisco Success Network は評価モードでは機能しません。
-

手順

-
- ステップ 1** [System] > [Licensing] > [Cisco Success Network] を選択します。
- ステップ 2** [Cisco Success Network Preferences] の下で、シスコから提供される情報に目を通してから、[Click here] をクリックして、シスコに送信されるサンプルデータを確認します。
- ステップ 3** [Enable Cisco Success Network] をどうするかを選択し、[Save] をクリックします。
-

Firepower 4100/9300 シャーシのスマート ライセンス サテライト サーバの設定

スマート ライセンス サテライト サーバを使用するように Firepower 4100/9300 シャーシを設定するには、次の手順に従います。

始める前に

- [スマート ソフトウェア ライセンスの前提条件 \(5 ページ\)](#) に記載のすべての前提条件を満たす必要があります。
- Smart Software Satellite Server を展開して設定します。
[スマート ライセンス サテライト OVA ファイル](#) を Cisco.com からダウンロードし、VMwareESXi サーバにインストールおよび設定します。詳細については、『[Smart Software Manager satellite Install Guide](#)』を参照してください。
- 内部 DNS サーバによって Smart Software Satellite Server の FQDN が解決できることを確認します。
- サテライト トラストポイントがすでに存在しているかどうかを確認します。

scope security

show trustpoint

FXOS バージョン 2.4(1) 以降では、トラストポイントはデフォルトで追加されることに注意してください。トラストポイントが存在しない場合は、次の手順を使用して手動で追加する必要があります。

1. <http://www.cisco.com/security/pki/certs/clrca.cer> に移動し、SSL 証明書の本文全体 ("-----BEGIN CERTIFICATE-----" から "-----END CERTIFICATE-----" まで) を、設定中にアクセスできる場所にコピーします。
2. セキュリティ モードを開始します。

scope security

3. トラスト ポイントを作成して名前を付けます。

create trustpoint trustpoint_name

4. トラスト ポイントの証明書情報を指定します。証明書は、Base64 エンコード X.509 (CER) フォーマットである必要があることに注意してください。

set certchain certchain

certchain 変数には、ステップ 1 でコピーした証明書のテキストを貼り付けます。

コマンドで証明書情報を指定しない場合、ルート認証局 (CA) への認証パスを定義するトラストポイントのリストまたは証明書を入力するように求められます。入力内容の次の行に、**ENDOFBUF** と入力して終了します。

5. 設定をコミットします。

commit-buffer

手順

-
- ステップ 1** [System] > [Licensing] > [Call Home] を選択します。
- ステップ 2** [Call Home Configuration] 領域で、[Address] フィールド内のデフォルト URL を、Smart Software Satellite Server の URL に置き換えます。これを行うには、この手順の前提条件で収集した情報を使用します。次の形式を使用します。 **https://[FQDN of Satellite server]/Transportgateway/services/DeviceRequestHandler**
- ステップ 3** [Firepower セキュリティ アプライアンスの License Authority への登録 \(7 ページ\)](#)。スマートライセンス マネージャ サテライトの登録トークンを要求し、コピーする必要があることに注意してください。
-

パーマネントライセンス予約の設定

Firepower 4100/9300 シャーシにパーマネントライセンスを割り当てることができます。このユニバーサル予約では、デバイスで無制限の数の使用権を使用できるようになります。



- (注) Smart Software Manager で使用できるように、開始前にパーマネントライセンスを購入する必要があります。すべてのアカウントがパーマネントライセンスの予約について承認されているわけではありません。設定を開始する前にこの機能についてシスコの承認があることを確認します。
-

パーマネントライセンスのインストール

以下の手順は、Firepower 4100/9300 シャーシにパーマネント（永続）ライセンスを割り当てる方法を示しています。

手順

-
- ステップ 1** System > Licensing > Permanent License を選択します。
- ステップ 2** Generate をクリックして、予約要求コードを生成します。予約要求コードをクリップボードにコピーします。
- ステップ 3** Cisco Smart Software Manager ポータルの Smart Software Manager インベントリ画面に移動して、Licenses タブをクリックします。

<https://software.cisco.com/#SmartLicensing-Inventory>

Licenses タブにアカウントに関連するすべての既存のライセンスが、標準およびパーマネントの両方とも表示されます。

ステップ 4 License Reservation をクリックして、生成された予約リクエストコードをボックスにペーストします。

ステップ 5 Reserve License をクリックします。

Smart Software Manager が承認コードを生成します。コードをダウンロードまたはクリップボードにコピーできます。この時点で、ライセンスは、Smart Software Manager に従って使用中です。

License Reservation ボタンが表示されない場合、お使いのアカウントにはパーマネントライセンスの予約が許可されていません。この場合、パーマネントライセンスの予約を無効にして標準のスマート ライセンス コマンドを再入力する必要があります。

ステップ 6 Firepower Chassis Manager で、生成された承認コードを **Authorization Code** テキスト ボックスに入力します。

ステップ 7 Install をクリックします。

Firepower 4100/9300 シャーシが PLR で完全にライセンス付与されたら、[Permanenet License] ページにライセンス ステータスが表示され、パーマネント ライセンスを返却するためのオプションが示されます。

ステップ 8 ASA 論理デバイス で機能のライセンス資格を有効にします。ライセンス資格を有効にするには、[ASA ライセンス](#) の章を参照してください。

(任意) パーマネント ライセンスの返却

パーマネント ライセンスが不要になった場合、この手順で Smart Software Manager に正式に返却する必要があります。すべてのステップに従わないと、ライセンスが使用状態のままになり、別の場所で使用できません。

手順

ステップ 1 System > Licensing > Permanent License を選択します。

ステップ 2 Return をクリックして、戻りコードを生成します。戻りコードをクリップボードにコピーします。

ただちに Firepower 4100/9300 シャーシのライセンスがなくなり、評価状態に移行します。

ステップ 3 Smart Software Manager インベントリ画面 に移動して、**Product Instances** タブをクリックします。

<https://software.cisco.com/#SmartLicensing-Inventory>

ステップ 4 ユニバーサルデバイス識別子 (UDI) を使用して Firepower 4100/9300 シャーシを検索します。

ステップ 5 **Actions > Remove** の順に選択して、生成された戻りコードをボックスに貼り付けます。

ステップ 6 **Remove Product Instance** をクリックします。

パーマネント ライセンスが使用可能なライセンスのプールに戻されます。

ステップ 7 システムをリブートします。Firepower 4100/9300 シャーシの再起動の方法については、[Firepower 4100/9300 シャーシの再起動](#)を参照してください。

スマートソフトウェアライセンスの履歴

機能名	プラットフォームリリース	説明
Cisco Success Network	2.7.1	<p>Cisco Success Network はユーザ対応のクラウドサービスです。Cisco Success Network を有効にすると、Firepower 4100/9300 シャーシと Cisco Cloud 間にセキュアな接続が確立され、使用状況に関する情報と統計情報がストリーミングされます。テレメトリのストリーミングにより、対象データを ASA から選択して、構造化形式でリモート管理ステーションに送信するメカニズムが提供されるため、次のことが実現します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワーク内の製品の有効性を向上させるために利用可能な未使用の機能が通知されます。 製品に付随する追加のテクニカルサポートサービスとモニタリングについて通知されます。 シスコ製品の改善に役立ちます。 <p>Cisco Success Network に登録すると、シャーシは常にセキュアな接続を確立して維持します。Cisco Success Network を無効にすることで、いつでもこの接続をオフにできます。これにより、デバイスが Cisco Success Network クラウドから接続解除されます。</p> <p>次のコマンドを導入しました。</p> <pre>scope telemetry {enable disable}</pre> <p>次の画面が導入されました。</p> <p>[システム (System)] > [ライセンス (Licensing)] > [Cisco Success Network]</p>

機能名	プラットフォームリリース	説明
Firepower 4100/9300 シャーシ向けシステム スマートソフトウェアライセンスング	1.1(1)	<p>スマートソフトウェアライセンスによって、ライセンスを購入し、ライセンスのプールを管理することができます。スマートライセンスは特定のシリアル番号に結び付けられていません。各ユニットのライセンスキーを管理する必要なく、デバイスを簡単に導入または削除できます。スマートソフトウェアライセンスを利用すれば、ライセンスの使用状況と要件をひと目で確認することもできます。スマートソフトウェアライセンスの設定は、 Firepower 4100/9300 シャーシスーパーバイザとセキュリティモジュール間で分割されます。</p> <p>次の画面が導入されました。</p> <p>[システム (System)]>[ライセンス (Licensing)]>[Call Home]</p> <p>[システム (System)]>[ライセンス (Licensing)]>[スマートライセンス (Smart License)]</p>